

オール澁川  
チーム澁川

令和8年度 澁川市当初予算(案)

「澁川回生」改革元年予算



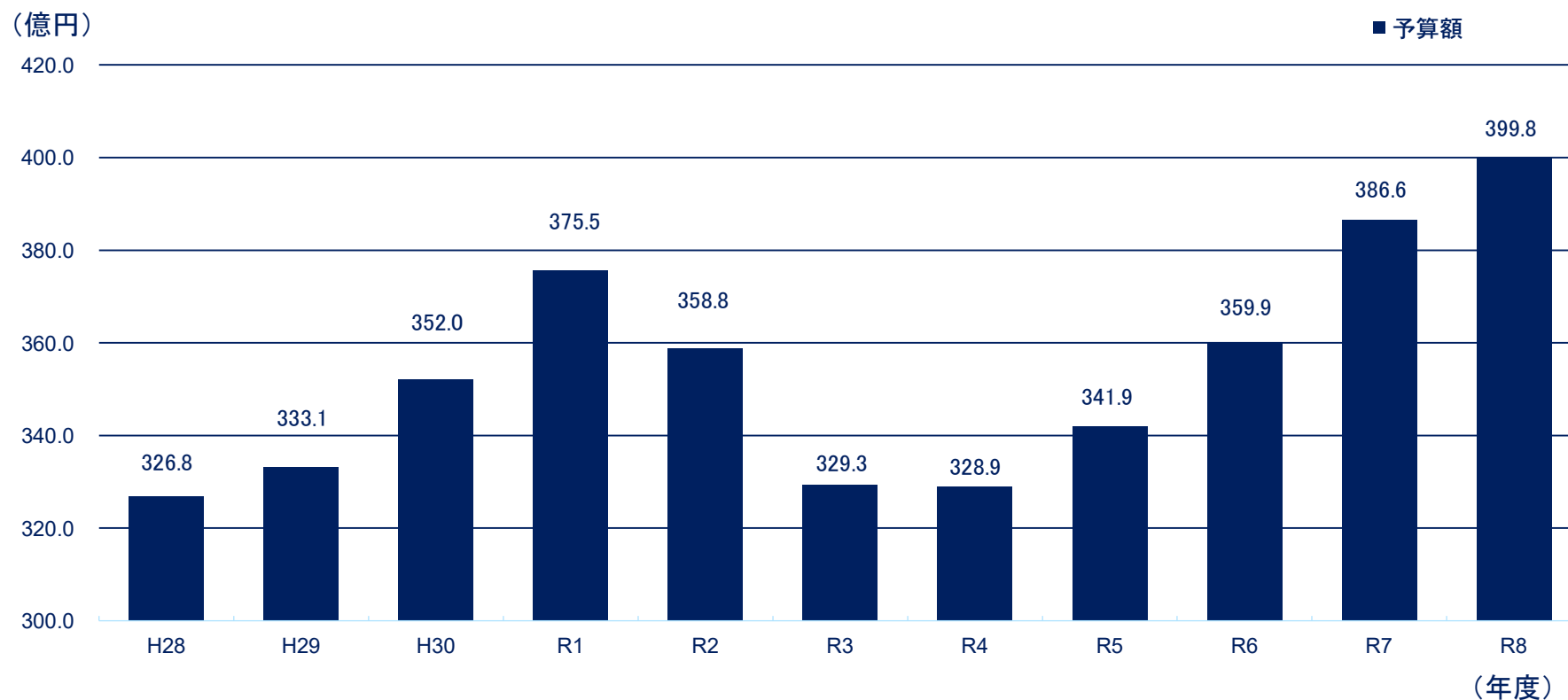


# 令和8年度一般会計予算規模

総額 399億7,300万円

(前年度予算比 +3.4%)

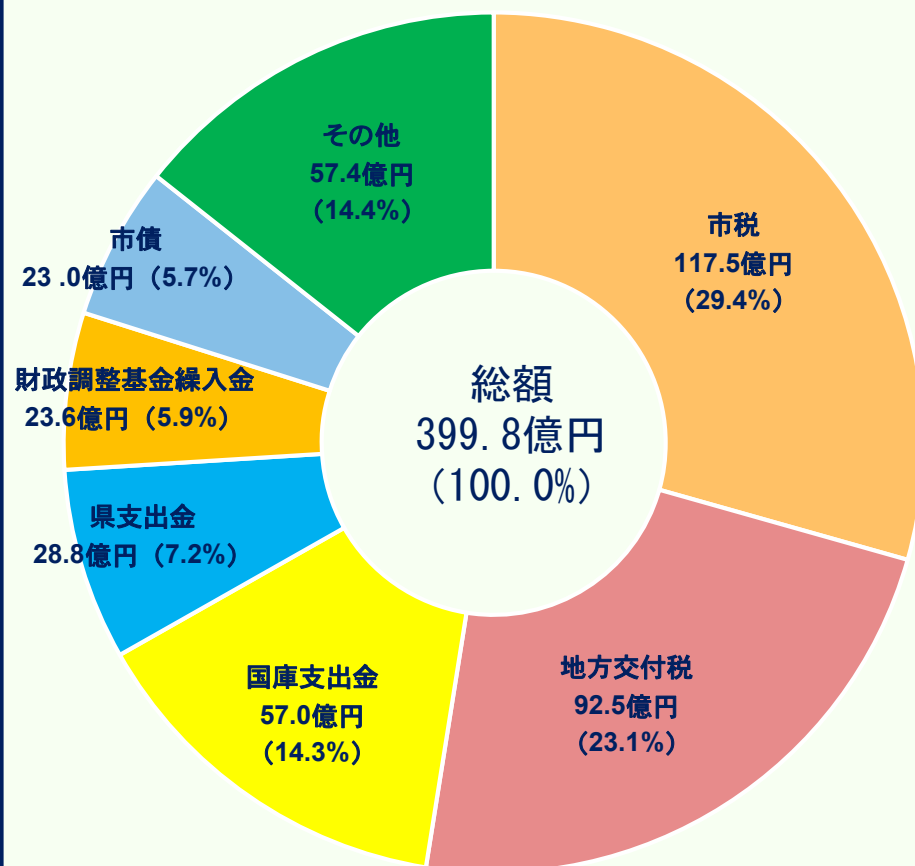
- ・ 大型建設事業の実施等により、前年度に比べて13.2億円の増加
- ・ 合併後、最大の予算規模



# 歳入の状況

- ・ 市税は前年度より2.2%増加（+2.5億円）
- ・ 地方財政計画等を踏まえ、地方交付税は3.4%増加（+3.0億円）

（単位：億円）

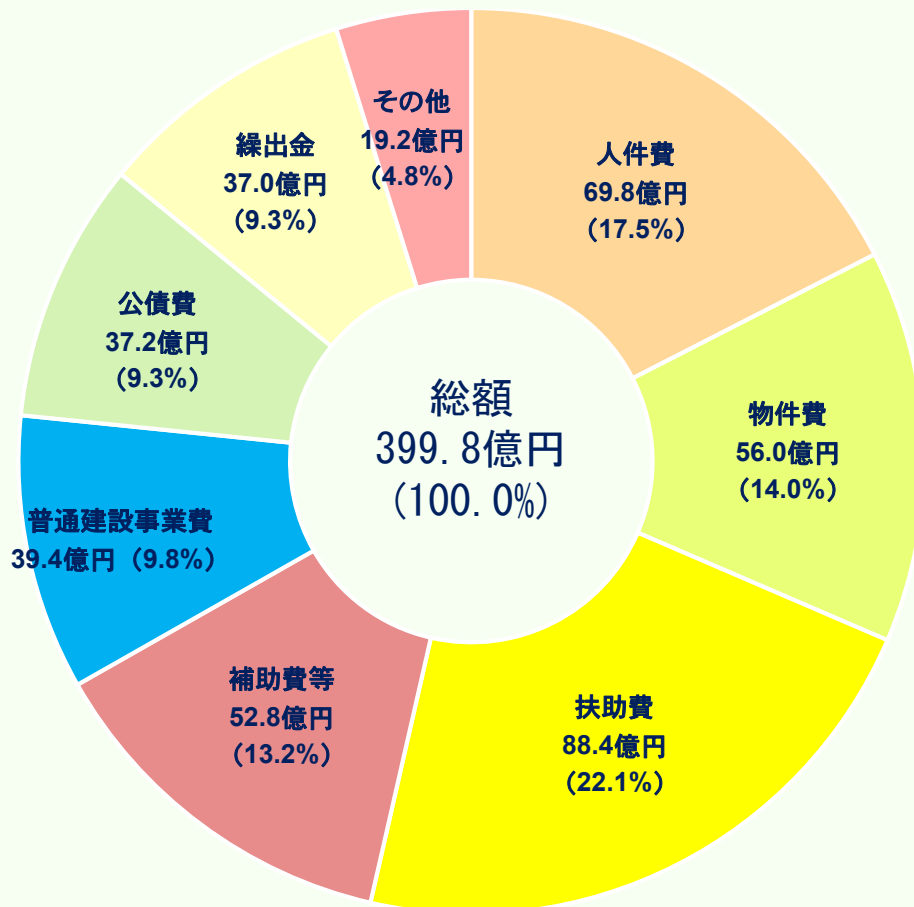


区分	R8年度	R7年度	対前年度比較	
			増減額	増減比率
市税	117.5	115.0	2.5	+2.2%
うち市民税	45.2	43.7	1.5	+3.5%
個人市民税	36.2	35.5	0.7	+2.1%
法人市民税	9.0	8.2	0.8	+9.5%
うち固定資産税	57.0	55.9	1.1	+1.9%
地方交付税	92.5	89.5	3.0	+3.4%
国庫支出金	57.0	48.6	8.4	+17.2%
県支出金	28.8	26.3	2.5	+9.2%
財政調整基金繰入金	23.6	21.2	2.4	+11.3%
市債	23.0	27.8	▲ 4.8	▲ 17.1%
臨時財政対策債	－	－	－	－
合併特例事業債	0.0	20.1	▲ 20.1	－
その他の通常債	23.0	7.7	15.3	+200.5%
その他	57.4	58.2	▲ 0.8	▲ 1.4%
合計	399.8	386.6	13.2	+3.4%

# 歳出の状況

- ・ 社会保障給付費の増により扶助費が7.0%増加（+5.8億円）
- ・ 大型建設事業等の実施により普通建設事業費が15.6%増加（+5.4億円）

(単位：億円)



区分	R8年度	R7年度	対前年度比較	
			増減額	増減比率
人件費	69.8	65.6	4.2	+6.5%
物件費	56.0	58.9	▲ 2.9	▲ 4.9%
扶助費	88.4	82.6	5.8	+7.0%
補助費等	52.8	50.6	2.2	+4.2%
普通建設事業費	39.4	34.0	5.4	+15.6%
単独事業費	19.3	19.5	▲ 0.2	▲ 1.1%
補助事業費	20.1	14.5	5.6	+38.6%
公債費	37.2	36.4	0.8	+2.2%
繰出金	37.0	36.3	0.7	+1.8%
その他	19.2	22.2	▲ 3.0	▲ 13.1%
合計	399.8	386.6	13.2	+3.4%

# 【参考】特別会計及び企業会計を含む予算規模

## 総額 687億5,204万円

(前年度予算比 +2.8%)

(単位：千円)

会 計 区 分		R8予算額	R7予算額	増減額	増減率
【一般会計】	一般会計	39,973,000	38,656,000	1,317,000	3.4%
【特別会計】	国民健康保険特別会計	8,525,975	8,827,533	-301,558	-3.4%
	後期高齢者医療特別会計	1,641,159	1,483,295	157,864	10.6%
	介護保険特別会計	9,571,839	9,301,231	270,608	2.9%
	農産物直売事業特別会計	1,715	2,934	-1,219	-41.5%
	伊香保温泉観光施設事業特別会計	220,974	169,988	50,986	30.0%
	小野上温泉事業特別会計	13,566	8,254	5,312	64.4%
	交流促進センター事業特別会計	9,651	8,920	731	8.2%
【企業会計】	水道事業会計	3,434,182	3,115,431	318,751	10.2%
	下水道事業等会計	5,359,979	5,292,248	67,731	1.7%
合計（一般会計+特別会計+企業会計）		68,752,040	66,865,834	1,886,206	2.8%

## 令和8年度予算における基本方針

# 『「渋川回生」改革元年予算』

令和8年度予算は、総合計画に位置付ける6つの「施策の大綱」に基づき、バランスの取れたまちづくりを進めるとともに、新市誕生から20周年を迎え、将来にわたり持続可能な渋川市をつくるための足がかりとなる取組を重点事業として、「オール渋川・チーム渋川」で推進します。

1 安全・安心に暮らし続けられるまち

2 健やかに育み支え合うまち

3 魅力と活力があふれるまち

4 自然と調和した快適なまち

5 豊かな心と文化を育むまち

6 協働による持続可能なまち

# 1 安全・安心に暮らし続けられるまち

災害や犯罪などに対して、市民の生命・財産を守り、誰もが安全で安心な住みよいまちの実現を目指します。

※【】内は、各大綱における施策名です。

拡充

## 自主防災組織活動支援事業 649万円（危機管理課）

・地域の防災リーダーを育成し、地域の防災力の向上を図るため、防災士資格取得費用の一部を助成します。

【1-1 消防・防災対策の充実】



新規

## 無電柱化整備推進事業 855万円（土木管理課）

・災害レジリエンスの強化を図るため、国の事業と連携し、第一次防災拠点である渋川医療センターへのアクセス道路の無電柱化に着手します。

【1-1 消防・防災対策の充実】

継続

## 住まいの防犯対策支援事業 300万円（危機管理課）

・高齢者を狙った悪質商法や犯罪が多発していることから、犯罪の抑止のため、防犯カメラやセンサーライトなどの防犯機器の設置に対して助成します。

【1-2 防犯体制の整備・充実】

拡充

## 消防団活動の充実 （危機管理課）

・消防団員の確保、処遇改善を目的として、新たに出動手当を創設します。  
・災害発生時における迅速な情報共有と消防団員の事務負担の軽減を目的として、消防団活動支援アプリを導入します。

【1-1 消防・防災対策の充実】



拡充

### 大学生等通学応援事業 500万円（市民協働推進課）

・人口の流出を抑制し、市内への定着を図るため、大学等へ一定距離以上の電車通学をしている学生に対し、定期券代の一部を補助します。

【1-5 定住環境の充実・促進】

拡充

### 空家等対策推進事業 1,043万円（市民協働推進課）

・空家等の適正管理や利活用を進めるため、第3期空家等対策計画の策定に向けた実態調査を実施します。

【1-5 定住環境の充実・促進】

継続

### 安定した水の供給 （水道課）

・安全で安定的な水道水の供給のため、PFAS対策を進めるとともに、老朽管更新等、水道管路の耐震化を進めます。

【1-6 安定した水の供給】



継続

### 汚水処理の充実 （下水道課）

・適切な汚水処理のため、公共下水道事業計画の見直しや、下水道未普及地域の解消に向けた管渠整備を行います。

【1-7 汚水処理の充実】

## 2 健やかに育み支え合うまち

住み慣れた地域で互いに支え合い、誰もが生涯を通じて健やかに暮らせるまちの実現を目指します。

拡充

**高齢者福祉計画策定事業**  
336万円（介護保険課）

・ 高齢者福祉を総合的に推進するため、老人福祉計画、第10期介護保険事業計画及び認知症施策推進計画が一体となった高齢者福祉計画の策定を進めます。

【2-5 高齢者福祉の充実】

継続

**孤独・孤立対策推進事業**  
2,000万円（社会福祉課）

・ 孤独・孤立の予防と脱却支援を目的として設置したひきこもり地域支援センターにおいて、当事者やその家族を対象に、相談支援、居場所とネットワークづくり、講演会などを実施します。

【2-1 地域福祉の充実】

継続

**高齢者外出支援事業**  
3,577万円（交通政策課）

・ 高齢者の日常の移動支援のため、GunMaaSの仕組みを活用したタクシーやバスの利用料金の割引を実施します。

【2-5 高齢者福祉の充実】

拡充

**渋川幼稚園の認定こども園への移行**  
（こども課）

・ 令和7年度に改修した渋川幼稚園を、令和8年4月から幼稚園型認定こども園へ移行し、幼児教育・保育環境の充実を図ります。

【2-2 子育て環境の充実】



継続

### こども誰でも通園事業 719万円（こども課）

- ・保護者の就労の有無にかかわらず利用できる「こども誰でも通園事業」を、こもち幼稚園において本格実施します。

【2-2 子育て環境の充実】



継続

### 放課後児童健全育成事業 2億4,981万円（こども課）

- ・放課後児童クラブにおける事務職員等の配置への補助を行い、夏季休業期間の延長に伴う子どもの居場所の確保にも対応します。

【2-2 子育て環境の充実】

継続

### 保育料の完全無償化 1億2,625万円（こども課）

- ・保護者の経済的負担を軽減し、子育て環境の充実を図るため、国の幼児教育・保育の無償化に上乗せした市独自の支援を実施します。

【2-2 子育て環境の充実】

継続

### 給食費の完全無償化 2億9,932万円（教育総務課）

- ・保護者の経済的負担を軽減し、教育環境の充実を図るため、引き続き小中学校の給食費を無償とします。

【2-2 子育て環境の充実】

拡充

**産後ケア事業**  
1,105万円（健康増進課）

・ 出産後の母親の精神的・身体的な不安を解消するための産後ケアについて、7日間の上限利用後も更に支援を必要とする方への訪問支援「ママ応援プラス訪問型」の利用者負担を無料とします。

【2-3 保健・医療の充実】

新規

**しぶかわ健康ウォーク実施事業**  
184万円（健康増進課、保険年金課）

・ 健康づくりを推進するため、参加者自身が目標を設定し、日常生活の中で楽しみながら継続的に取り組める

「しぶかわ健康ウォーク」を実施します。

【2-4 スポーツと健康づくりの推進】



拡充

**歯周病検診事業**  
220万円（健康増進課）

・ 歯と口腔の健康を維持し、健康寿命の延伸につなげるため、歯周病検診の受診再勧奨の対象を拡大し、受診率の向上を図ります。

【2-3 保健・医療の充実】

拡充

**フレイル予防推進事業**  
1,105万円（介護保険課）

・ 介護予防への理解を広く周知するため、eスポーツを活用したイベントを実施し、これと連携して、新たに男性向けの介護予防講座を開催します。

【2-7 介護保険の充実】

### 3 魅力と活力があふれるまち

魅力あふれる交流とにぎわいを創造するために、本市の強みをいかし、新たな産業の振興や雇用の創出により活力あふれるまちの実現を目指します。

新規

#### 新規就農応援金支給事業 400万円（農林課）

・高齢化に伴って農業従事者が減少している中、意欲を持って就農する人に対し新規就農応援金を交付し、地域農業の活性化を図ります。

【3-1 農林業の振興】



新規

#### 地域の農業担い手支援事業 600万円（農林課）

・地域農業の担い手となる農業者に対し、スマート農業用機械などの導入や労働環境改善のための施設整備への補助を行い、地域農業の維持・発展を図ります。

【3-1 農林業の振興】

拡充

#### 認定農業者等への支援の充実 （農林課）

・認定農業者などを対象とした国や県の補助事業と連携し、市独自の上乗せ支援を行うことにより、本市の農業の活性化を図ります。

【3-1 農林業の振興】

継続

#### 有害鳥獣対策事業 3,814万円（農林課）

・有害鳥獣による被害の拡大防止を図るため、捕獲隊による捕獲を推進するほか、狩猟免許取得費等への助成により、捕獲を担う狩猟者の確保を図ります。

【3-1 農林業の振興】



新規

### 観光MaaS推進事業 500万円（観光課）

・群馬県が運営するGunMaaSに、観光チケットなどの予約・決済機能を連携し、本市を訪れる観光客の利便性向上を図ります。

【3-4 観光の振興】



拡充

### アニメツーリズム推進事業 498万円（観光課）

・渋川市を舞台としたアニメ等を活用したアニメツーリズムの推進により、アニメファンの取り込みやインバウンド誘客に取り組みます。

【3-4 観光の振興】

拡充

### 企業誘致促進事業 4,683万円（企業誘致推進室）

・本市に進出する企業への補助制度を拡充するとともに、組織体制を充実することにより、企業誘致を一層促進し、市内経済の発展を図ります。

【3-2 工業の振興、3-3 商業の振興】

拡充

### 誰もが働きやすい職場環境づくり応援事業 475万円（商工課）

・誰もが活躍できる社会の実現を目指し、職場における女性用施設の整備やバリアフリー化にかかる費用、人材育成のための研修費用などに対し補助を行い、職場環境づくりを支援します。

【3-5 勤労者対策の充実】

## 4 自然と調和した快適なまち

本市の美しい自然環境を保全し、快適な都市環境を整備するため、適正な土地利用を推進するとともに、地域の交流や連携を強化するため、幹線道路や生活道路、交通安全施設を整備し、市民が快適に生活できるまちの実現を目指します。

新規

景観計画策定事業  
22万円（都市政策課）

・良好な景観の形成を促進し、地域社会の健全な発展を図るため、景観法に基づく渋川市景観計画の策定に着手します。

【4-4 計画的な土地利用と良好な市街地の形成】

継続

（都）渋川高崎線道路改良事業  
3億5,158万円（都市政策課）

・群馬県の県土整備プランにおいて主要事業として位置付けられている（都）渋川高崎線の道路改良について、県と連携して用地買収を進めます。

【4-1 連携を強化する道路・橋りょうの整備】

継続

生活に身近な道路の整備  
（土木管理課、土木維持課）

・生活に身近な道路の整備、維持管理、除草、除雪等を迅速に行い、安全安心な道路環境の確保に努めます。

【4-2 生活に身近な道路の整備】

継続

JR八木原駅周辺整備事業  
22億1,183万円（都市政策課）

・公共交通を軸としたまとまりのあるまちづくりを進めるため、JR八木原駅の自由通路及び駅舎整備工事、東西駅前広場の工事を実施します。

【4-3 公共交通体系の充実】

拡充

### 総合公園整備事業 4,193万円（都市政策課）

・令和11年度国民スポーツ大会軟式野球（成年男子）の競技会場として、渋川市総合公園野球場が決定していることから、競技基準に適合するよう施設の改修を行います。

【4-5 公園の整備】

拡充

### 地球温暖化対策推進事業 450万円（環境課）

・2050カーボンニュートラルの実現に向けた総合的な地球温暖化対策に取り組むため、「（仮称）渋川市地球温暖化対策実行計画2027-2030」を策定します。

【4-6 環境保全対策の推進】

継続

### 食品ロス削減推進事業 10万円（環境課）

・食品ロスを削減し、ごみの減量化・資源化を推進するため、食品ロス削減取組コンテストやSDGsに関する特別授業などの啓発活動に取り組めます。

【4-7 ごみの減量化・再利用】

継続

### ごみ減量対策事業 123万円（環境課）

・家庭におけるごみの減量化・資源化を推進するため、生ゴミ処理機等の購入費用に対して補助を行います。

【4-7 ごみの減量化・再利用】



## 5 豊かな心と文化を育むまち

子どもたちの生きる力を育むため、特色ある教育を推進するとともに、学校・家庭・地域が連携した取組を推進します。また、本市の歴史と地域文化などを通じ、各世代に応じた活動や人材の育成を促進し、文化の薫り高いまちの実現を目指します。

拡充

### 小中学校適正配置推進事業 18万円（教育総務課）

・人口減少が進行し、社会情勢が大きく変化していく中で、子どもたちがより良い教育を受けられるよう、小中学校の適正規模・適正配置について全市的な視点で検討し、基本となる計画を策定します。

【5-1 学校教育の充実】

新規

### 学校体育館での暑さ対策 496万円（教育総務課）

・夏季における児童・生徒の熱中症予防対策として、小中学校の体育館の空調整備について検討を行うとともに、暫定的な対応として、全小中学校の体育館にスポットクーラーを配備します。

【5-1 学校教育の充実】

拡充

### 英語教育充実事業 7,521万円（学校教育課）

・早期に英語に慣れ親しむ環境を整えるため、小学校低学年からの英語教育に取り組みます。

【5-1 学校教育の充実】



拡充

### 部活動地域展開推進事業 1,005万円（学校教育課）

・中学校における部活動の継続や生徒の活躍の場をつくり、地域でスポーツ・文化芸術に親しめる多様な環境を整備することを目的とした部活動の地域展開に向け、専門的な知識を有するコーディネーターを配置します。

【5-1 学校教育の充実】

継続

### 市内高校生連携事業 842万円（生涯学習課）

- ・市内高等学校4校と特別支援学校をあわせた5校の高校生との連携を図り、高校生の健全育成と高校生の力を生かしたまちづくりを推進します。  
【5-2 青少年の健全育成】

拡充

### 上三原田の歌舞伎舞台保存活用事業 1,864万円（文化財保護課）

- ・国指定重要有形民俗文化財である上三原田の歌舞伎舞台の保存・活用・公開普及のため、創建者没後150年を記念した「創建者150年大遠忌公演」を実施します。  
【5-4 地域文化の振興】

継続

### 子ども歌舞伎教室実施事業 102万円（生涯学習課）

- ・地域の伝統文化である歌舞伎の普及・育成のため、子ども歌舞伎教室を開催し、上三原田の歌舞伎舞台「創建者150年大遠忌公演」に出演します。  
【5-3 生涯学習の充実】



継続

### 瀧沢石器時代遺跡保存整備事業 6,807万円（文化財保護課）

- ・国の史跡に指定されている瀧沢石器時代遺跡の保存・活用を推進するため、造成工事や市民参加による「育てよう!縄文の森プロジェクト」を実施します。  
【5-4 地域文化の振興】

## 6 協働による持続可能なまち

全ての市民が、その特性を最大限に発揮することができる多様性のあるまちづくりを推進するとともに、市民を始めとする多様な主体との協働により計画的な行財政運営を行い、持続可能なまちの実現を目指します。

新規

総合計画策定事業  
678万円（総合政策課）

・ 市政運営の総合的な指針であり、本市のまちづくりの最上位計画となる第3次渋川市総合計画の策定に着手します。

【6-7 適正な組織体制と健全な行財政運営】

新規

新庁舎整備事業  
433万円（総合政策課）

・ 建設から約60年が経過し、老朽化が進む市役所本庁舎の建て替えについて、現本庁舎敷地に建設を想定した際の問題点などを明らかにするため、調査を行い、新庁舎整備に向けた検討を進めます。

【6-8 市有財産の適正な管理・運用】

新規

公共施設再編推進事業  
6万円（財産活用課）

・ 合併から20年が経過し、人口減少が進む中、持続可能な財政運営を進めていくため、公共施設の再編に計画的に取り組めます。

【6-8 市有財産の適正な管理・運用】

拡充

公有資産経営事業  
5,066万円（財産活用課）

・ 老朽化した子持行政センターの移転や地域の公民館活動に対応するため、子持公民館の増築・改修に向けた基本設計を実施します。また、公共施設等総合管理計画に基づき、不用となった建物の解体を行います。

【6-8 市有財産の適正な管理・運用】

継続

### 自治会連合会等支援事業 1億1,771万円（市民協働推進課）

・市と地域が協働し、行政活動や地域活動などが効率的かつ円滑に運営できるよう、必要な事務の委託や支援を行うとともに、自治会の負担軽減についても引き続き取り組みます。

【6-1 市民との協働】

拡充

### ふるさと渋川応援推進事業 1億9,834万円（広報課）

・企業版ふるさと納税について、成果報酬型の総合支援サービスを導入し、ふるさと納税の更なる促進による歳入の確保を図ります。

【6-7 適正な組織体制と健全な行財政運営】

拡充

### 男女共同参画社会実現事業 128万円（総合政策課）

・小中学生や市民を対象に、性に関する正しい知識に加え、心身の変化や人間関係、コミュニケーションについて学び、自分と他者を理解し尊重する力を育む包括的性教育に関する研修を実施します。

【6-3 男女共同参画の推進】

拡充

### 国際交流推進事業 275万円（市民協働推進課）

・ハワイ郡（アメリカ合衆国）、ローガン市（オーストラリア）、ファカタネ市（ニュージーランド）との姉妹都市・友好都市関係がそれぞれ節目の年を迎えることから、パネル展等を実施し、機運醸成を図ります。

【6-4 交流連携の強化と国際交流の推進】

拡充

### DX推進事業 776万円（DX推進課）

・新たに生成AIを業務に導入して、自治体DXを推進し、業務の効率化による住民サービスの向上を図ります。

【6-6 情報化の推進】



拡充

### 渋川市の情報発信 （広報課）

・令和7年度に実施したシナリオコンテストの最優秀作品を基にPR動画を作成するほか、SNSでの発信力のあるインフルエンサーなどを活用し、本市の魅力を広く発信し、交流人口や関係人口の拡大を図ります。

【6-5 情報共有の推進】

継続

### 電子地域通貨「渋Pay」の運用

・電子地域通貨「渋Pay」を運用し、地域経済の好循環を図ります。  
加盟店に決済額の1%を負担していただき、将来世代への投資として活用します。

【令和8年度の活用予定】

・児童生徒の校外活動の際に利用する移動支援バスを更新し、校外活動の充実を図ります。  
・小中学校の図書室や、市立図書館及び北橋図書館の図書を購入し、子どもの読書環境の充実を図ります。

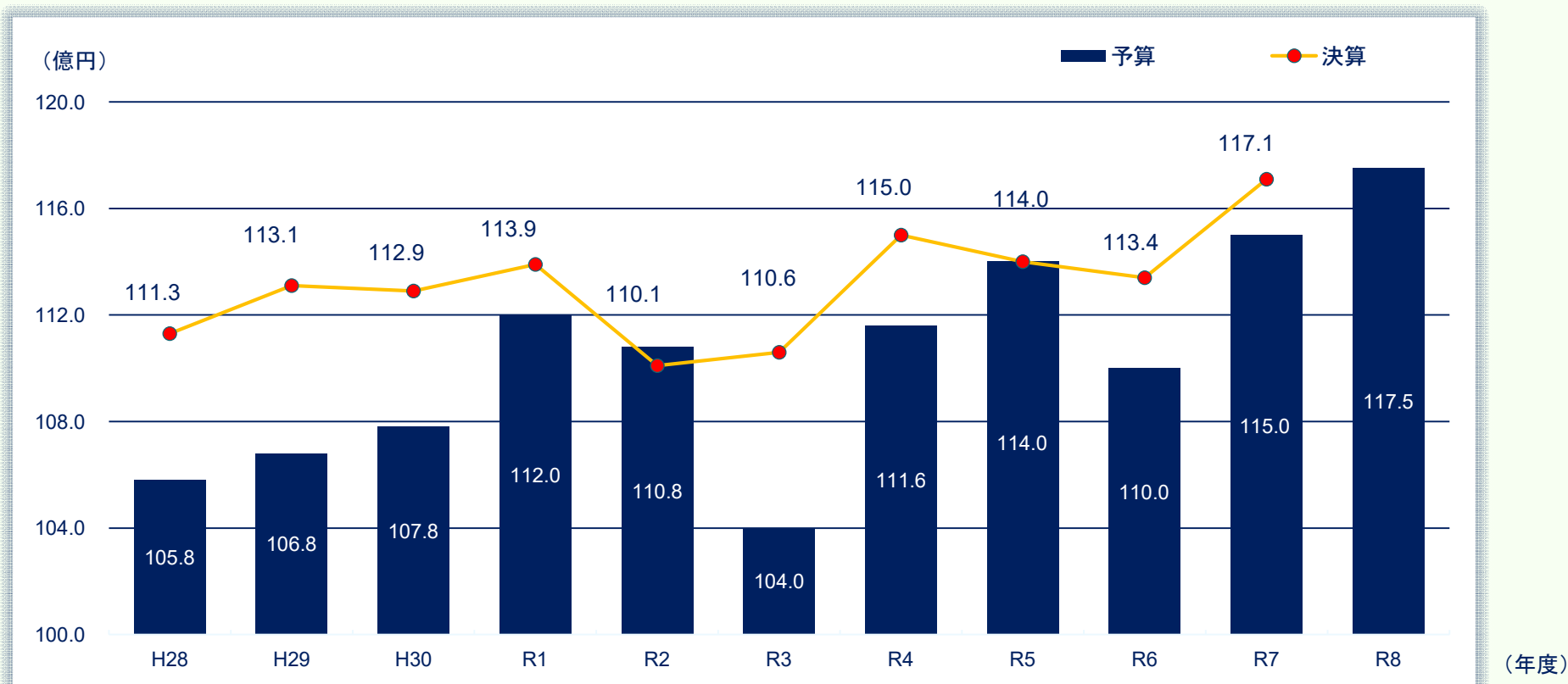
【6-1 市民との協働、6-6 情報化の推進】





## 市税の推移

- ・ 個人の給与所得の増加や、企業の設備投資による償却資産の増加などにより、前年度から2.5億円の増加（合併後では3番目の市税収入見込）

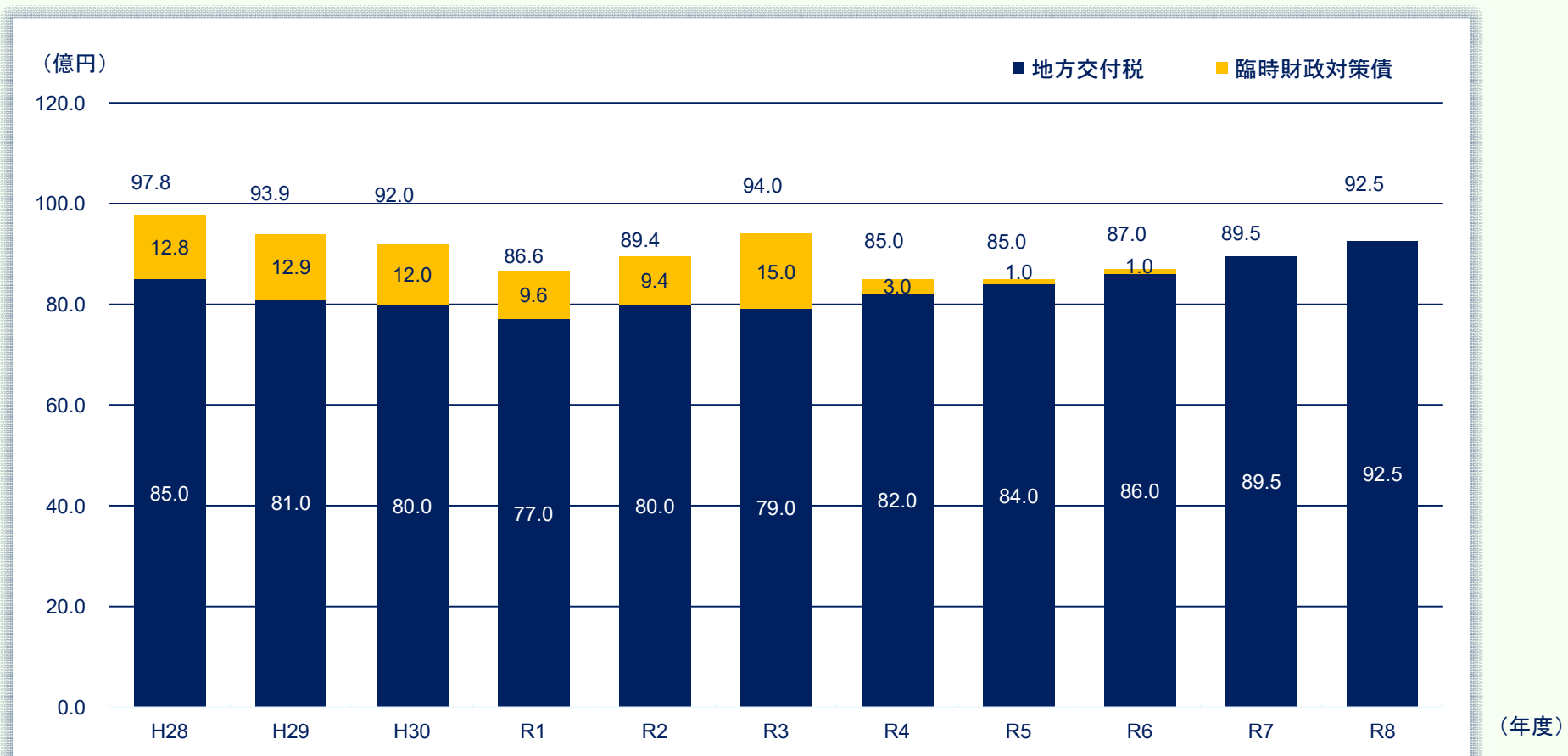


※R6年度予算は定額減税の影響額が約3.3億円

※R7年度決算額は現時点での見込額

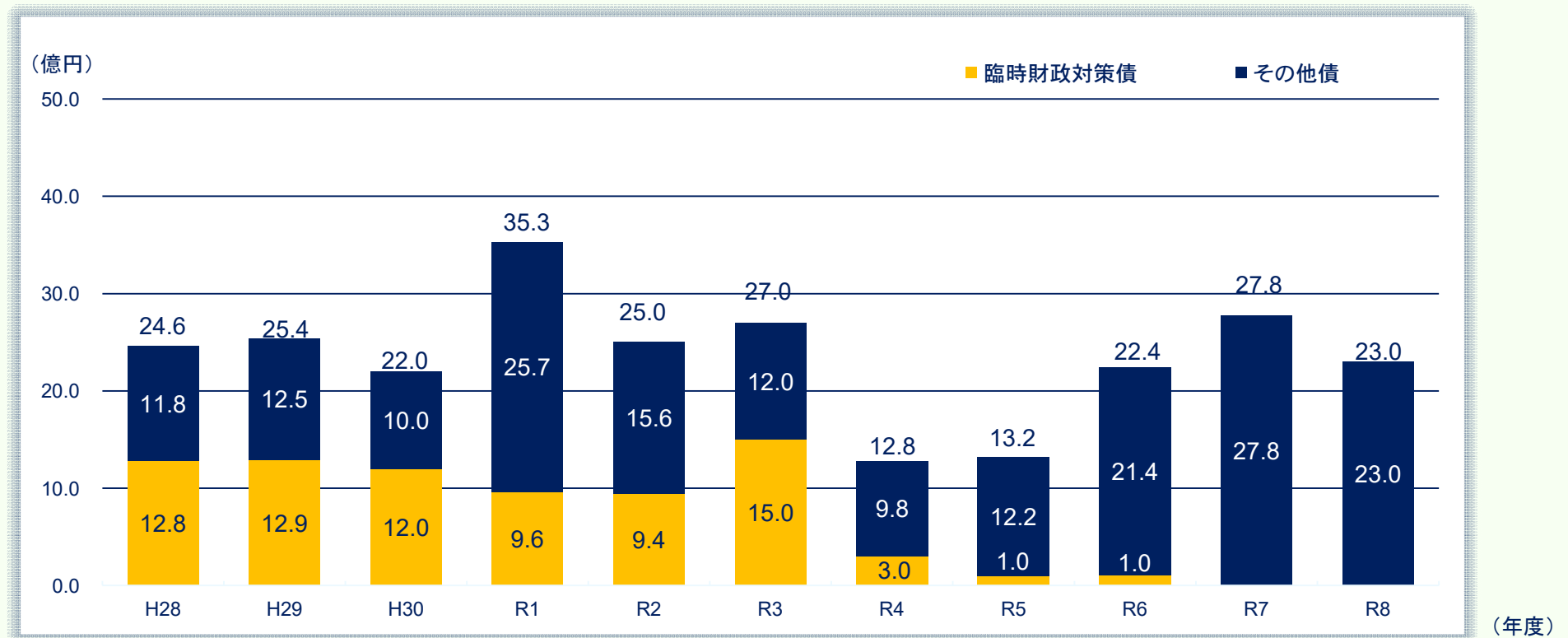
## 地方交付税予算額（当初予算）の推移

- ・ 地方財政対策を踏まえ、地方交付税は3.0億円の増加  
（前年度に引き続き、臨時財政対策債の新規発行はなし）



## 市債予算額（当初予算）の推移

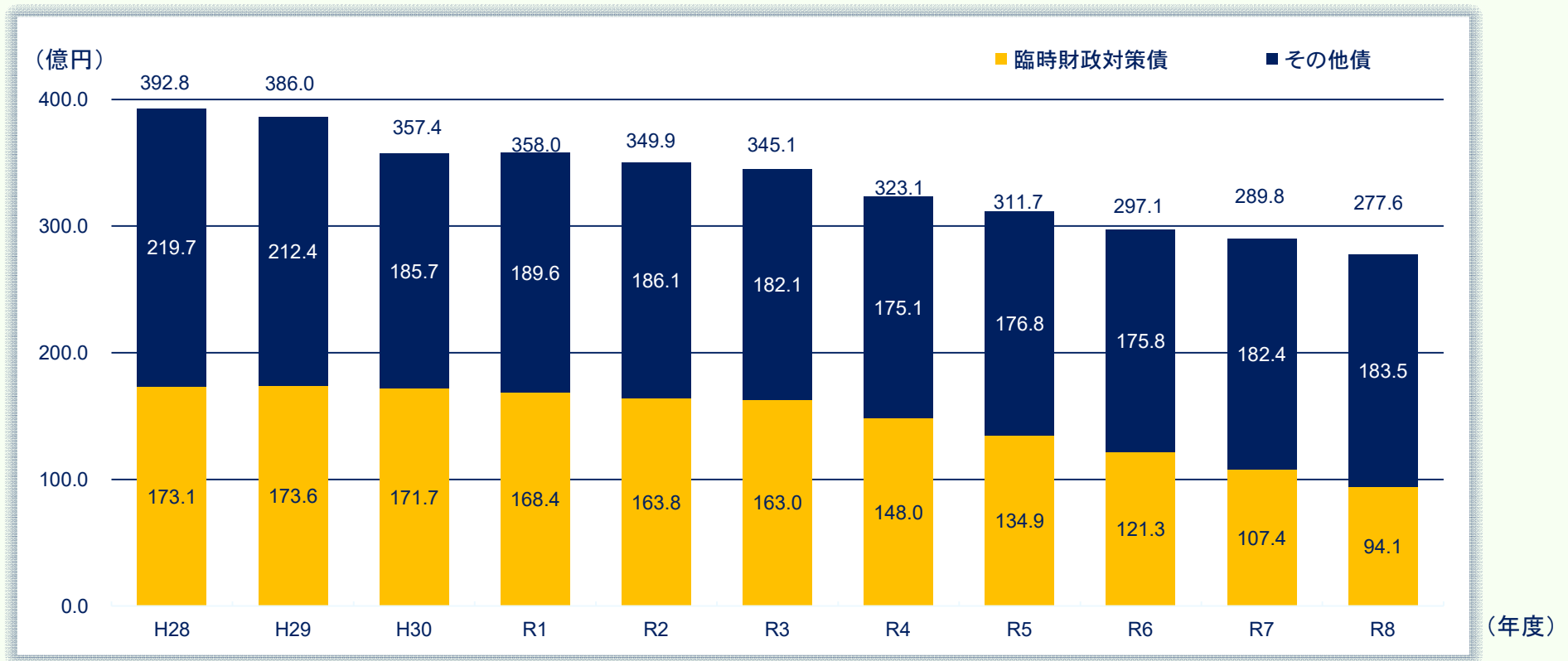
- ・ 合併特例事業債はR7年度で発行期間が終了
- ・ 前年度に引き続き、臨時財政対策債の新規発行はなし





## 市債残高の推移

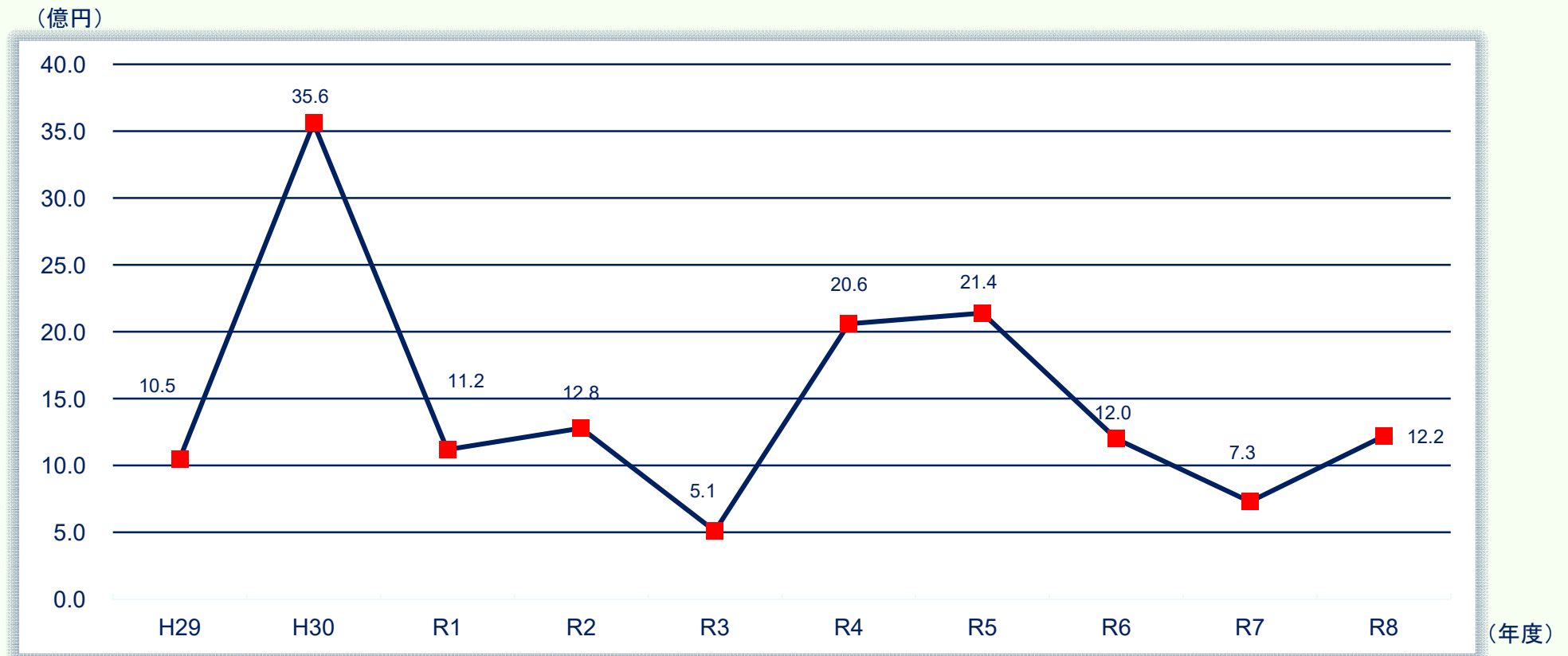
- ・ 借入と償還のバランスに配慮した財政運営により、市債残高は減少



※R6年度までは年度末残高、R7年度及びR8年度は年度末残高見込

## プライマリーバランス（当初予算）の推移

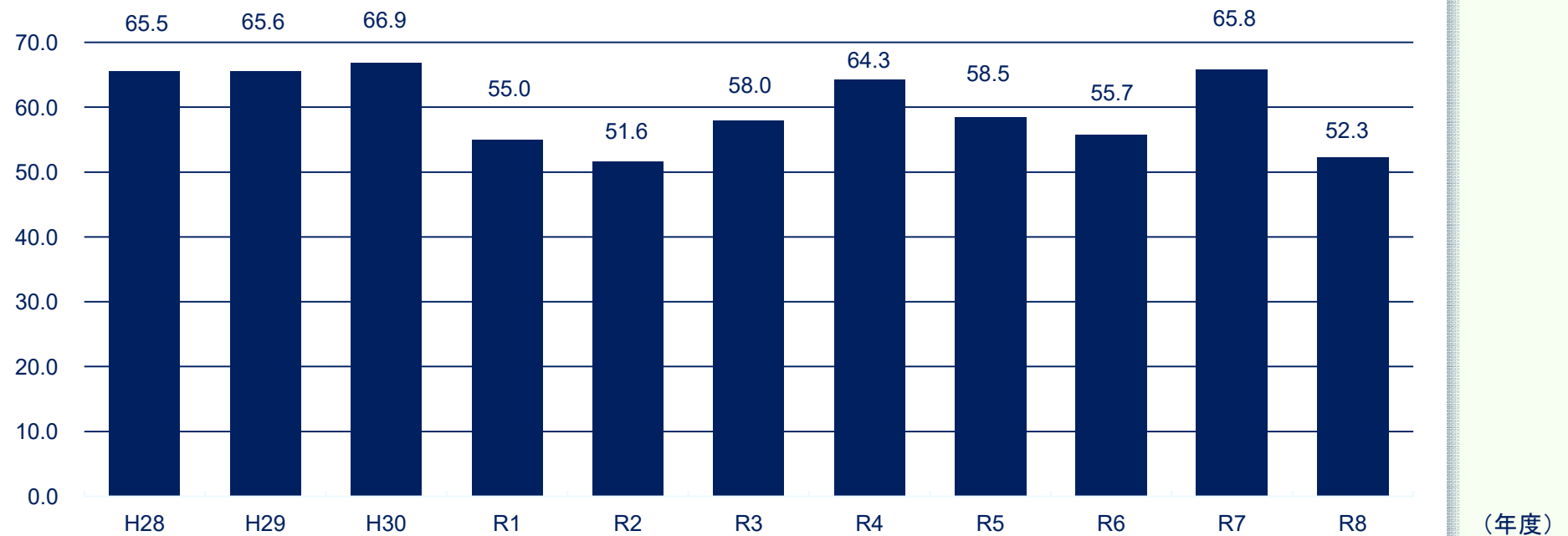
- ・ 借入と償還のバランスに配慮した財政運営により、プライマリーバランスは12.2億円の黒字を確保



## 財政調整基金残高の状況

- ・ 歳入一般財源の不足を補う財源対策として、財政調整基金を取崩し対応
- ・ 災害などの予期せぬ事態に対応するため、一定額を確保

(億円)

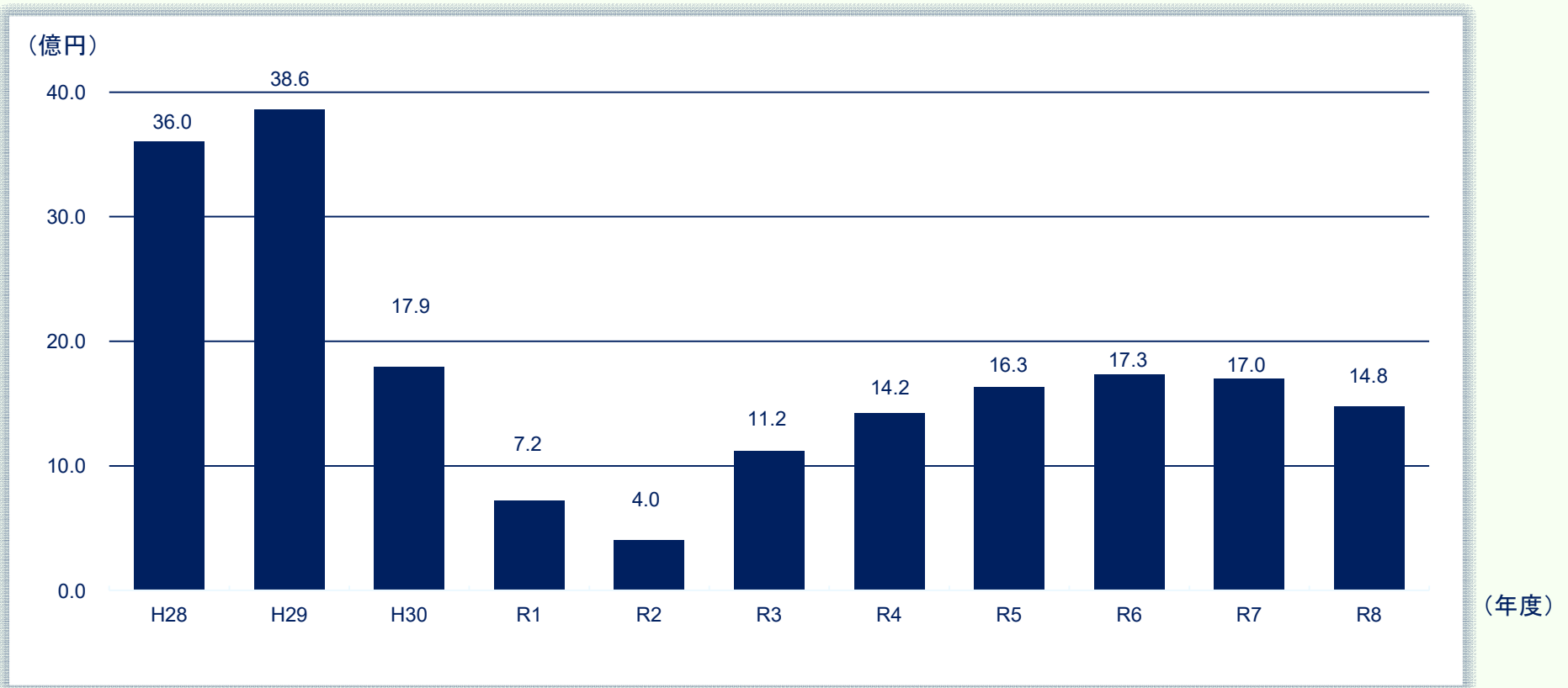


※R6年度までは年度末残高、R7年度及びR8年度は年度末残高見込

## 減債基金残高の状況

- ・ 将来的な公債費の増加に備えるため、一定額を確保

※H30～R2に減債基金を活用して繰上償還を実施



※R6年度までは年度末残高、R7年度及びR8年度は年度末残高見込

## 組織機構の見直しについて

効率的で活力に満ちた行政運営のため、市民に分かりやすい簡素な組織機構とする見直しを行います。主なものは次のとおりです。

- 総合計画に基づき事業を推進するため、企画部門に特化した総合政策部を新設します。
- 農林業の更なる振興を図るため、農政部を新設します。
- 企業誘致の更なる推進のため、商工観光部に企業誘致推進室を新設します。
- 公共施設の再編統合を進めるため、総務部財産活用課に公共施設再編係を設置します。
- 新庁舎建設の検討を進めるため、総合政策部総合政策課に新庁舎準備室を新設します。